

## 「栄養の日・栄養週間 2022」実施要領

1. 趣 旨 (公社) 日本栄養士会は 2016 年に、全ての人びとの健康の保持・増進の実現に向けて、「栄養の日 (8 月 4 日)」、「栄養週間 (8 月 1 日～8 月 7 日)」を制定しました。

2021 年 12 月、SDGs の達成に向けて「東京栄養サミット 2021」が開催されます。

今、世界の関心事は持続可能でよりよい世界であり、地球上の誰一人取り残さないことが宣言されています。さなか、2030 年、さらにその先の未来を描くうえで栄養状態の改善、栄養問題の撲滅は絶対であり、外務省でも、「栄養状態の改善は、17 ある持続可能な開発目標 (SDGs) の目標 2 に該当し、さらにその他計 12 の目標達成に深く関係します。保健分野だけではなく、農業や流通、水・衛生、ジェンダーなど多くの分野と関連しているため、各分野が連携して栄養改善を進めることが SDGs 達成に不可欠です。」とされています (ホームページより)。サミットでは、各国政府ほかステークホルダーによりこうした具体策について協議、コミットメントとして発表することが期待されています。

2022 年、管理栄養士・栄養士は「栄養と環境」について考えます。日本栄養士会は、栄養・食生活の営み、生産、畜産、加工、保存、配送、流通、料理、食事、廃棄のなかで、食・栄養の専門職としての環境問題への対応を推進します。2022 年度「栄養の日・栄養週間」では、全国の管理栄養士・栄養士とその職能をもって、地球を元気に、未来の笑顔の実現を目指します。管理栄養士・栄養士でなければならない、エビデンスにもとづいた情報提供をしていきます。栄養の専門職が一丸となりできること、今こそ世界に、「栄養のチカラ」を届けるよう、国民との接点を発信します。「栄養の日・栄養週間 2022」では、これらを宣言するとともに、管理栄養士・栄養士の活動の場で国民運動として活動していきます。

2. 主 催 公益社団法人 日本栄養士会、47 都道府県栄養士会

3. 期 間 2022 年 8 月 1 日 (月) ～7 日 (日) を中心とした 6 月から 8 月  
(「栄養の日」: 8 月 4 日、「栄養週間」: 8 月 1 日～7 日)

4. 後 援 (予定)

厚生労働省、外務省、農林水産省、文部科学省、環境省、消費者庁、内閣府食品安全委員会、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人介護支援専門員協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、公益財団法人骨粗鬆症財団、公益財団法人児童育成協会、公益財団法人食品等流通合理化促進機構、一般社団法人全国栄養士養成施設協会、公益社団法人全国学校栄養士協議会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本アレルギー

学会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、一般社団法人日本栄養学教育学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、一般社団法人日本癌学会、日本給食経営管理学会、日本外科代謝栄養学会、一般社団法人日本健康・栄養システム学会、特定非営利活動法人日本高血圧学会、一般社団法人日本骨粗鬆症学会、一般社団法人日本在宅栄養管理学会、一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会、一般社団法人日本循環器学会、一般社団法人日本小児アレルギー学会、一般社団法人日本小児臨床アレルギー学会、一般社団法人日本食育学会、一般財団法人日本食生活協会、公益社団法人日本食品衛生協会、一般社団法人日本腎臓学会、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会、公益財団法人日本知的障害者福祉協会、一般社団法人日本透析医学会、一般社団法人日本糖尿病学会、一般社団法人日本動脈硬化学会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、一般社団法人日本病院会、一般社団法人日本病態栄養学会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会、一般社団法人日本臨床栄養学会、一般社団法人日本臨床栄養代謝学会、一般社団法人日本老年医学会、公益財団法人母子衛生研究会（計 60 団体） ※順不同

## 5. 実施企画

- ・栄養ワンダー 2022
- ・栄養ワンダー・オンライン 2022
- ・特設 Web サイト
- ・市民公開講座・オンライン（栄養ウェビナー）
- ・広報活動

## 6. 開催場所

- ・栄養ワンダー 2022（全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント）  
各管理栄養士・栄養士活動先（1,000 か所程度）、47 都道府県栄養士会各イベント会場、オンライン会場
- ・栄養ワンダー・オンライン 2022  
SNS（Instagram）、日本栄養士会「NU+（ニュータス）」内（<https://www.nutas.jp/84/>）
- ・特設 Web サイト  
日本栄養士会ホームページ内（<https://www.dietitian.or.jp/84/>）  
日本栄養士会「NU+（ニュータス）」内（<https://www.nutas.jp/84/>）
- ・市民公開講座・オンライン  
特設 Web サイト内

## 7. 「栄養の日・栄養週間 2022」の概要

### (1) 構成

- 栄養ワンダー 2022  
栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の職能認知・普及を目的に、管理栄養士・栄養士それぞれの活動先で、栄養のリアルイベントあるいはオンラインイベントを実施します。コロナ禍において、従来の集合型のイベントは一部見合わせ、病院、福祉高齢施設、小中学校、社員食堂など、管理栄養士・栄養士の、通常業務の範囲での開催となります。
- 栄養ワンダー・オンライン 2022

栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の職能認知・普及を目的に、管理栄養士・栄養士それぞれが、テーマに基づいた投稿を自身の SNS (Instagram) に投稿します。

● 特設 Web サイト

「日本栄養士会ホームページ：<https://www.dietitian.or.jp/84/>」（管理栄養士・栄養士向け）と「NU+（ニュータス）：<https://www.nutas.jp/84/>」（国民向け）で、特集コンテンツ、栄養ワンダーの情報等、「栄養の日・栄養週間 2021」に関連した記事を掲載します。

● 市民公開講座・オンライン（栄養ウェビナー）

市民一人ひとりの健康・栄養に対する関心が高まる中、情報提供の機会を設け、市民の多様なニーズに応えることを目的として、市民公開講座を特設 Web サイト内で開催します。

● 広報活動

日本の栄養課題および「栄養の日・栄養週間 2022」に関連した施策の認知拡大を目的に、広報活動を実施します。

(2) 統一テーマ：

栄養と環境 ―地球を元気に、未来を笑顔に―

(3) 日程表（予定）

- ・栄養ワンダー 2022：2022年7月1日（金）～8月31日（水）
- ・栄養ワンダー・オンライン 2022：2022年7月1日（金）～8月31日（水）
- ・特設 Web サイト展開：2022年7月1日（金）～8月31日（水）
- ・市民公開講座・オンライン：2022年7月～8月予定
- ・広報活動：2022年6月～8月予定